

大会名称: 第72回国民体育大会  
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: ツインドーム重信 Aコート

試合区分: No. 5 成年男子 準々決勝

期 日: 2017(H29)年10月2日(月)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30



主審: 加藤 昌樹

副審: 勝原 芳徳

<p>秋田 (東北)</p>	<p>○ 94</p>	<p>22 — 18 30 — 18 21 — 8 21 — 22 — — —</p>	<p>● 66</p>	<p>東京 (関東)</p>
--------------------	-----------------	---	-----------------	--------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		佐藤 光	8	0	4	0	0	4	2
5		大矢 孝太郎	11	0	4	3	3	5	2
6		館 龍星	4	0	2	0	3	1	0
7	*	鈴木 隆史	14	2	3	2	2	15	4
8		志水 一希	6	0	2	2	0	2	1
9		菊地 啓志	0	0	0	0	0	0	2
10		高橋 純	2	0	1	0	1	2	3
11	*	山崎 渉真	11	1	3	2	4	2	3
12	*	根岸 城二	10	1	3	1	3	1	0
13	*	柳澤 洸太	12	1	4	1	1	6	6
14	*	森 知史	13	0	5	3	2	3	2
15		斉藤 大輔	3	1	0	0	1	1	0
HC		柿崎 智弥 / TEAM							
		合計	94	6	31	14	20	42	25

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	鈴木 伸之	8	2	1	0	2	2	3
5	*	福田 侑介	6	1	0	3	1	1	2
6	*	長南 朝成	4	0	2	0	4	2	0
7	*	吉留 将平	0	0	0	0	1	4	0
8		福田 大佑	8	1	2	1	1	2	0
9		福永 雅刀	8	0	4	0	1	8	2
10	*	沼田 凌	12	0	5	2	2	6	2
11		小林 純也	7	0	3	1	2	2	3
12		山本 純平	5	1	1	0	1	3	0
13		赤石 遼介	2	0	1	0	0	4	0
14		池田 慶次郎	0	0	0	0	3	1	3
15		馬 浩然	6	0	1	4	1	1	1
HC		藤本 靖章 / TEAM							
		合計	66	5	20	11	19	36	16

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。東京都は#4の3Pで先制すると、秋田県も#7が2本連続3Pを入れる。その後、東京都は#10のパワープレイで得点を重ね、秋田県も#13のドライブインや外角シュートなどで入れ返す均衡した時間が続く。残り2分を切り、秋田県#5の速攻で5点差となったところで、東京都はタイムアウトを取る。再開直後#8が3P決め流れを掴もうとするが、秋田県もドライブインで入れ返し、18-22で秋田県の4点リードで第1ピリオド終了。  
 第2ピリオド、両チームミドルシュートなどで得点を入れ合う展開でスタート。その後、東京都が秋田県の堅い守りに攻めあぐむ間に、秋田県は#12のドライブインや#14の外角シュートなどで得点を重ね、点差を広げていく。秋田県#8の外角シュートがブザービートとなり、36-52で秋田県の16点リードで前半を折り返す。  
 第3ピリオド、東京都は#4や#5が3Pを決めるが、秋田県の堅い守りになかなか点が取れない。その間、秋田県は外角シュートや#14のリバウンドシュートなどで得点を重ねる。秋田県はこのピリオド東京都を8点に押さえ、44-73と秋田県大量リードで第3ピリオド終了。  
 第4ピリオド、開始直後東京都#6が外角シュートを決めるが、秋田県もドライブインなどで得点する。開始2分で東京都がタイムアウトをとり、その後#10や#9の外角シュートがリズムよく決まる。秋田県も#15の3Pや#5の活躍で得点を伸ばす。お互いに点を取り合う展開となり、66-94で秋田県が勝利する。秋田県の守りの強さやどこからでも点の取れる攻撃力の高さが光るゲームであった。最終まで果敢に攻め続けた東京都にも賛辞を送りたい。

担当者: 荒井 慎也(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

